

令和 7 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	上田グリーン・アクションチーム	
代表学生	所属大学名・学部・学年	長野大学・企業情報学部・4年生
	ふりがな 氏名	みやざき あかり 宮崎 有日里
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	長野大学企業情報学部・教授・いちかわ ふみひこ 市川 文彦

活動名	信州から世界へ！ グリーン・アクションとメッセージの提起！
実施時期	2025年6月から2026年1月にかけて。
実施場所	長野県上田市、東信地域。
活動内容	<p>21世紀の地球温暖化の深刻な影響は長野県内でも近年、明確に現れている。2019年の台風19号は千曲川決壊で県内各地に大きな被害をもたらし、また夏季には上田市など全国一の高温記録に達する地点も度々、県内に生じている。このような災害、環境変容をくい止めるには、地球温暖化の進行自体を抑制していく必要がある。</p> <p>私たちの企画は県内複数大学の学生が協力し、温暖化抑制のために、地域から、日常生活の中から一歩ずつライフスタイルの改変も含むグリーン・アクションを考案しながら実践し、それを地域から県内、全国、世界へ信州発の有効な実践法として発信していくことを目指しており、現在も継続中である。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>人々が自発的な再生可能資源の回収に、現状以上に取り組むための経済的インセンティブも用いた社会的な仕掛け創り、健康のような多数の人々の関心事と体力づくりの運動を結び付けたエネルギー変換によるマイクロ発電の蓄積システムの提示、さらに夏冬の室温維持のための簡易な二重窓による手作り断熱施工、また大学キャンパス内の自然エネルギーを用いたマイクロ水車等の発電システムプランの具体的な提起と実践などが実証的活動の主軸になった。これらの実践とアイデアは、県とのワークショップ(10月)での議論の結果、長野県の環境政策にも採用され、今後実施されていく。</p> <p>これら実践例については、県内の大学・高校・中学校とも連携をして、さらに環境経営に取り組む地域企業とも提携しながら、事例調査の蓄積、提案を広く提起し、うえだ環境市民会議(11月)、自然エネルギー小ネットワークが開催する年次研究会(12月)へ参加し、活動成果を発表し市民、地域行政と新システム創りを議論した。地域企業とエコ商品開発も実施。</p> <p>さらに以上の実践例と新エコ・システムの提案＝グリーン・アクションは、信州からのグリーン・メッセージ提起の場として開催中の大阪万博2025会場にて、豪州パビリオンでのハイブリッド式国際学生会議を、他の学生組織と共同企画として主催し、現地で報告、意見交換した(9月)。また上田市での学生、市民組織、企業、地域行政とのワークショップ(9月)での議論という形式でチームの研究成果を発信し、積極的に実践の拡がりに努めた。</p> <p>これからの課題は、これらの実践活動と問題提起を、いかに継続・発展させ、広く展開させていくか、一層、具体化していくことである。万博2025の経験により、横浜花博2027での国際会議設定と環境メッセージ国際発信も、次の目標となる。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※本報告書と併せて、活動内容報告動画及び支出明細書(領収書添付)を提出してください。

上田グリーン・アクションチームの活動記録:

9月

*本チーム主宰の、環境国際学生会議=The Greener Youth Session
@オーストラリア展示館、大阪・関西万博会場。 日豪学生間で個人の日常生活、
地域社会から、地球環境向上、温暖化抑止策を考案、実践することを議論(12日)。



*市民 X 学生 X 企業が協同する、GXI ver2.の環境ワークショップへ参加。

本チーム内での検討成果や実践について説明し、生活の中からの地球環境課題への対応を、縦横に議論した。 於 シナノケンシ株式会社 (29日)。



10月

*長野県環境部、県・上田地域振興局主催の、ゼロカーボンミーティング in UEDA へ参加。

本チーム・メンバーである長野大生、信州大生が、このミーティングで、人々の日常生活から、地域から、地球温暖化への、草の根対応を、どのように図っていくかについて県環境部スタッフたちと議論した。

人々の環境意識を高めていくこと以上に、人々の経済的メリット、個人的関心事と繋げていく新タイプの環境行動(サステナブル行動)システム創りや、人々の行為と環境向上への効果の視える化、視覚化が学生提言として本チームから発信された。この提言は、県環境施策「長野県ゼロカーボン戦略見直し」に 11 月、反映されることになった。 於 長野県工科短期大学校 (15 日)。



11月

*うえだ環境市民会議 年次研究会 <環境をよくしたい人大集合 2025!> での報告と議論。

於 上田市文化センター(29日)。



展示パネルの設定準備



研究の報告

12月

*環境国際学生会議@大阪・関西万博の開催報告会の実施： 報告と質疑。
於 まちなかキャンパスうえだ(3日)。



*コムパックシステム株式会社(段ボール製造)への、再生可能素材によるエコ商品企画提案会 の
開催と企画提案。 於 長野大学(12日)。



企画提案の説明



鈴木 由彦社長からのコメント

*自然エネルギー上小ネット・第58回情報交流会での報告と討議。
於 上田駅前ビル パレオ(20日)。



9月・GXIIでの議論を拡張した、研究報告



地域市民・企業・行政とのディスカッション